



社協だより

— 安心して暮らせる福祉のまちづくり —

2023年

9月

No.306



今日は事前学習会。
夏休みを利用して
福祉の理解を深めます。



もくじ

- P2 認知症事業／地域福祉課
- P3 地域サロン／地域福祉課
高齢者の生きがいづくり／シルバー人材センター
- P4 福祉体験／地域福祉課
親子講座／地域福祉課
- P5 福祉座談会／在宅福祉課
社会福祉士連絡会／在宅福祉課
- P6 災害ボランティアセンター活動／令和5年7月大雨災害
- P7 社協情報／ひきこもり相談窓口、もの忘れ相談室 など
- P8 地域サロン／島田・惣領一町内・上町・杉堂
地域を支えるふくしの輪／ふれあいメッセージカード

9月の社協だより

今月号の表紙は「ワークキャンプ」です。夏休みを利用して、町内の福祉施設や地域サロンで福祉体験を行いました。事前学習会を行い、ワークキャンプ・認知症について学び、車イス・高齢者疑似体験を実施しました。

また、社協情報には9月の相談日やお知らせ等をご紹介します。

社会福祉法人
益城町社会福祉協議会

事業 認知症

地域福祉課

9月はアルツハイマー月間です

2023年アルツハイマーデー標語

「もっと知ろう もっと語ろう 認知症」

認知症になると「何も分らない、何もできない」とまだ思っていないませんか。認知症と診断されても、生活が急に変わる訳ではありません。備えることは、認知症ともにあなたらしく暮らせる希望ある社会の実現につながります。

この月間は、認知症に関わるすべての人のものです。ぜひこの機会に認知症の理解を深め、介護している家族と本人への支援を考え、認知症になっても安心して暮らせる社会づくりを理解し参加ください。

益城町内でのイベント

1 日時：9月19日（火）午後、9月28日（木）午前

場所：役場 内容：認知症などに関する相談室

2 日時：9月20日（水）14時から

内容：映画上映会「ベトナムの風に吹かれて」

主演 松坂慶子 場所：ミナテラス視聴覚室

また、町の図書館等でも認知症に関する書籍等の展示も行っています。ぜひ、ご来場ください。



昨年の図書館での展示

ほっこり茶屋（木山下辻団地）

7月から木山下辻団地集会所で、認知症カフェが開催されています。認知症になっても、自分らしい生活を送ることができ、日ごろから認知症に関して正しい知識と理解を持って、誰もが暮らしやすい地域になるよう今後も月に1回オープンします。当日は夏休み中で子どもさんの参加もあり、みなさん「若いパワーをもらった」と喜ばれていました。



一人ずつ自己紹介しました



茶話会の様子

キャラバン・メイト養成講座

7月4日（火）、18日（火）の2日間にわたって行いました。キャラバン・メイトとは、主に認知症サポーター養成講座の講師を務める人で、認知症に関して専門の勉強を行い、認知症の方やご家族を地域で支えるために活動している方たちです。

今回は12名の益城町を支援するキャラバン・メイトの皆さんが誕生しました。今後、町内の方たちを支えるために活躍されます。



熱心に講師の言葉に耳を傾ける受講生

認知症サポーター養成講座

7月29日（土）にいろいろ行いました。当講座は、地域での認知症への正しい知識と理解を広めるために行っています。今回の参加は少人数ではありますが、話の後に実際に介護をしている中での認知症の方の対応などの話も聴くことができました。

講座を希望する団体や集まりなどがありましたら、60〜90分程度で行っています。少人数でも構いません。



皆さんに認知症への理解を呼びかけてます

会員紹介 ～タスキ～

No.39

中園 豊さん
所属／一般作業班



高年齢者の生きがい づくり シルバー人材センター

会員登録のきっかけ

週に数回、別の仕事をしていましたが、より良い生活リズムを保つために、空いた時間でもう少し働きたいと思い登録しました。

活動をとおして思うこと

活動をとおして体を動かすことは、健康の維持のために良い効果が出ています。短時間や午前中だけの作業もあり、自分の都合に合わせて活動できるのも良いところだと思っています。また、一つの作業を完了することで得られる達成感が、充実した日々につ

ながっています。

趣味

読書や文書を書くことが好きで長く続けています。本やインターネットで得た情報をもとに自分の考えをパソコンで文書化し、熊日新聞などへ寄稿することを続けています。

これからやりたいこと

「人生のカーナビは自分の心」です。自分の思いや考えを大切にし人生選択をしていきたいです。



清掃活動の様子

合志市野々島地区 との意見交換会

7月18日(火) 合志市野々島コミュニティ地域福祉連絡協議会の民生委員やサロンサポーターの方と地域サロンについて意見交換会を行いました。

当日は、益城町地域サロンの現状を説明した後、五楽しらゆり会代表の古閑森さんと広崎4・5町内よつ葉会代表の高本さんより各サ

地域サロン

地域福祉課

ロンの活動について話をしていたきました。

コロナ禍の活動の様子や送迎、活動保険等について意見交換しました。他にも野々島地区は初めにサロンの集まりを開始して、その後には区長や民生委員等の協力を得て活動されており、益城町は初めから区長や民生委員を核としてサロンを開始したため、その違いや地域サロンの旗は活気が出るし、宣伝効果につながるの意見を聞くことができました。



古閑森さんの笑いヨガに合わせて体を動かしました



広崎4・5町内よつ葉会の活動発表の様子

福 社 体 験

地域福祉課

津森小学校4年生福祉体験教室

当協議会では、福祉教育を推進するための一つの方法として「体験」を通じて理解を深めていただくために、出張福祉体験教室を行っています。この体験事業は、身近な学校等で「共に生きていく力」を育んでいくきっかけとして、また、将来にわたって広い意味での社会福祉に対する理解や関心を育てていくことを目的として行っています。

7月6日(木)には、津森小学校の4年生の授業にお邪魔しまし

た。事前に授業の中で高齢者疑似体験などを学んだことを復習し、「ふ」つうの「く」らしの「し」あわせを守る福祉について学んでいたが、車イス体験を行いました。児童の皆さんからは「車イスに乗って怖かったから、今度からはうまく押せると思う」「高齢者の気持ちになつて、もつとおじいちゃんたちを大切にしたいと思った」などの意見発表があり、一人一人が体験したことそれぞれ感じることがあったようでした。



児童の活発な意見が飛び交います



実際に車イスを体験した4年生の皆さん

親 子 講 座

地域福祉課

「親子わくわく講座」を開催しました

7月7日(金)と21日(金)に広崎2町内公民館で開催し、7日は親子5組11名、21日は親子4組9名の参加がありました。

今回は「イライラしない上手な伝え方のコツを学ぼう」と題し、伝わりやすい指示の仕方や「子どもをうまくほめるコツを学ぼう」ということで子どものほめ方・認め方について、一般社団法人ひのくにスマイルプロジェクト代表理事の茶木谷与和さんに講話をいただきました。

参加者からは「グループワークでは、日ごろの子どもとの接し方について振り返り、クイズ形式で話し方や言葉にして伝えることのみずかしさなどを学び、再確認になりました」「クイズ形式でロールプレイしていくのは楽しかった」「講座に来て参加者に近所の方がいることや同年代の親子が知り合えるきっかけとなりました」との言葉も聞かれました。

親子講座は、第2回目を秋頃開催予定です。



気軽に質問できる参加型のアットホームな講座でした



子どもさんもおもちゃを分け合いながら遊んでいます

福祉座談会

在宅福祉課

7月は、上陳と惣領3町内で開催しました。赤井・木崎でも開催予定でしたが、大雨の影響により延期になりました。

上陳座談会（7月11日開催）

上陳の良いところは、水がきれいで自然豊か。住民同士の挨拶がしっかりできているところ。しかし、住

民同士をよく知っているため、民生委員等への相談はしにくいのではないかな等の意見がありました。

惣領3町内（7月20日開催）

惣領3町内は、昔からの住民と、新しく転入してきた住民とが入り混じる地域。住民同士の関わり方やコミュニケーションの方法等が課題。

また、見守り活動をする中で、これまで世帯に介入（支援）してよいか悩んでいるケース等の情報交換がありました。

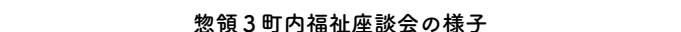
福祉座談会は、今年度25行政区で実施予定です。



上陳福祉座談会の様子



惣領3町内福祉座談会の様子



惣領3町内福祉座談会の様子

社会福祉士連絡会

在宅福祉課

7月7日（金）、町内の事業所に所属する社会福祉士を対象として、第6回社会福祉士連絡会を開催しま

した。この連絡会は、社会福祉士の分野を越えた連携や相互理解を深めることを目的としており、当日は高齢者・児童・障がい者施設、医療機関等から26名の参加がありました。

今回は益城病院の田中美奈さんよ

り「精神科病院におけるソーシャルワーカー（以下、SW）の役割」というテーマで、SWが担っている役割や精神保健福祉法との関連についてお話していただきました。また、後半のグループワークでは、益城病院の3名のSWを交えて活発な意見交換が行われました。

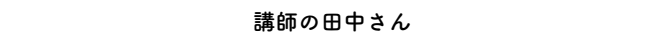
今回の連絡会を通して、益城病院のSWの方々が支援を必要とする方の暮らしを支えるために様々な場面で働きかけやつなぎ役を担っていること、その基盤として権利擁護の視点が大切であることを学びました。



講義の様子



講師の田中さん



講師の田中さん

7月3日(月)の大雨により被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

当協議会では、お住まいの住宅が倒壊や床上及び床下浸水等の被害に遭われた世帯に対して、7月6日(木)に災害ボランティアセンターを設置し、熊本地震時に活躍いただいたボランティア団体等の協力を得て、床下の泥出しや浸水で使えなくなった家財道具の搬出、消毒等の活動を行ってきました。

活動が落ち着き、8月4日(金)をもちまして新規ニーズの受付は終了しましたが、継続案件については、8月も引き続き活動しました。

【活動実績】(7月31日現在)

- ・開設期間 7月6日～7月31日(23日間活動)
- ・ニーズ受付件数 35件(活動件数 延72件)
- ・完了件数 26件 ・継続件数 9件 ・ボランティア活動人数 延370名



ブラッシングでの泥落とし



畳の搬出



家財道具の搬出



今日も頑張ろう! 1・2・3ダーッ!



庭に流れ込んだ泥の泥出し

【ボランティア活動を通じて】

ヒラタ災害支援チーム
加々見 欣也さん
五嶋 章生さん

令和2年7月豪雨災害で浸水被害に遭われたお宅を支援した時の経験を活かして、少しでも協力できたらと思い参加しました。実際に活動し、災害に大も小もなく活動内容は同じだと感じました。

(益城町へのメッセージ)

自然災害に負けないで!! 1人でも多くの方が笑顔になる明るい町にしてください。



【ボランティアを受け入れて】

赤井 花田 直さん
良子さん

自宅等が浸水し、倉庫にあった田植え機等の機器全てが使えなくなりました。片づけをしなければならぬとは思っていても気落ちして手が回らない状況でした。

そんな中、災害ボランティアセンターのボランティアの方々に来てもらい、皆さん、気持ちよく挨拶され、慣れた手つきで活動されていました。とても助かりました。



社協情報

当協議会で行っているイベントや相談日等を掲載しています。詳細は、お気軽にお尋ねください。

◇ひきこもり相談窓口

「ひきこもり」に悩んでいる方へ

小さな一歩を踏み出すために

ひきこもりって?・・・ひきこもりは様々な要因によって対人交流や社会的な参加の場が、長期にわたり少なくなっている状態のことです。誰にでも起こりえますが、長く続くとひきこもり状態から抜け出しにくくなる場合があります。

一人で悩まず一緒に考えていきませんか。あなたのタイミングで気軽に相談してください。ご家族や知り合いの方からの相談もお受けしています。

問／在宅福祉課

☎096-214-5566

県ひきこもり地域支援センターゆるここ

☎096-386-1177

◇もの忘れ相談室

認知症に関する悩みや不安の解決と一緒に考え、医療機関や介護サービス等、必要な機関にご紹介する相談室を開設しています。また、介護に対する悩み相談も受け付けています。

相談日／9月19日(火)

①13時30分から ②14時30分から

③15時30分から

場所／役場1階相談室

(住所／益城町宮園702)

※事前予約制です。

問／地域福祉課

☎096-214-5566

◇シルバー人材センター

【料金改定について】

この度、物価高騰及び昨年10月の最低賃金改定に伴い、令和5年10月作業分から料金を改定することとなりました。お客さまには大変ご迷惑をおかけすることとなりますが、引き続きのご愛顧とご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

・改定後の料金(時間単位)

草取・農作業950円(改定前825円)

草刈・剪定1100円(改定前995円)

事務手数料15%(改定前13%)

【会員募集】

現在、事前予約制による個別入会説明

◇心配ごと相談

日常生活のちょっとした心配ごとから、土地や相続などの法律に関することまで相談を受け付けています。お気軽にご相談ください。

※予約不要(相談対応中の方はお待ちいただくことがありますが、あらかじめご了承ください)

日時／毎週水曜日

10時から12時、13時から15時

場所／役場1階相談室D

住所(益城町宮園702)

※相談員は左記の表をご覧ください。変更になる場合もあります。

問／在宅福祉課

☎096-214-5566

日程	専門相談員	相談員	
9月6日(水)	松尾英美 (司法書士)		前田宣俊 (民生児童委員)
9月13日(水)	松尾英美 (司法書士)	齊藤輝代 (人権擁護委員)	友池留美子 (民生児童委員)
9月20日(水)	松尾一 (行政相談委員)	堀内敦子 (人権擁護委員)	椎葉るみ子 (民生児童委員)
9月27日(水)	松尾一 (行政書士)	富田セツコ (消費生活相談員)	岡本壽則 (民生児童委員)
10月4日(水)	松尾英美 (司法書士)		海野秀夫 (民生児童委員)

～つながる地域・住みよいまち～

地域サロン

町内の各地域サロンでは、高齢者をはじめ地域の人たちが楽しく集まる空間づくりが盛んに行われています。また介護予防の取り組みや閉じこもりの防止、見守り、仲間づくり、社会参加を目的とした活動などを行っています。

島田サロン



場所／東無田公民館／日時／毎月第3水曜日 10時

惣領一町内ニコニコ健康サロン



場所／惣領一町内公民館／日時／毎月第2金曜日 10時

サロン上町



場所／公民館きやま座／日時／毎月10日 10時

杉堂しおいサロン



場所／杉堂公民館／日時／毎月第3金曜日 10時

地域を支えるふくしの輪

ふれあい交流会 ～メッセージカードで交流～

今回も民生委員児童委員の皆さんに協力していただき、一人暮らしの65歳以上の方へ配布したメッセージカードの返信がたくさん届きました。「毎日暑いので、熱中症に気をつけてくださいね」「夢が叶うといいですね」と子どもたちを気遣う言葉や、近況等素敵な絵が描かれたハガキ等、楽しい喜びの返事が届いており、その中から一部ですが紹介します。
※届いたカードは協力いただいたみなさんにお渡しします。
ご協力ありがとうございました。

誰もが安心して暮らせるまちづくりを支えている活動を紹介します。



子どもたちへ届いたメッセージカード

2023年

9月

No.306

発行 / 社会福祉法人 益城町社会福祉協議会 会長 西村 博則

〒 861-2233 熊本県上益城郡益城町惣領 1 4 7 0
益城町保健福祉センター「はびねす」内
TEL /096-214-5566 FAX /096-214-5567
ホームページ <https://www.mashiki-shakyo.or.jp/>

